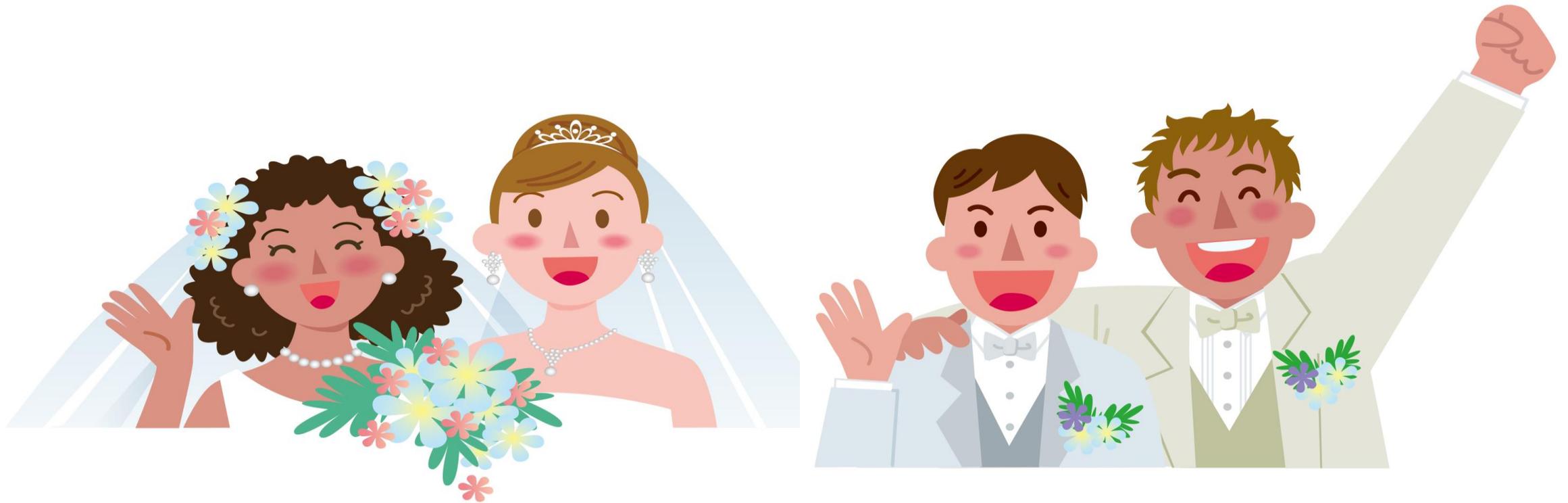


LGBT って？



用語説明

呼称	意味
【L】 レズビアン	女性として女性が好きな人
【G】 ゲイ	男性として男性が好きな人
【B】 バイセクシュアル	両性好きになる人のこと
【T】 トランスジェンダー	心と身体の性が不一致な人
【Q】 クィア・クエスチョニング	自己のジェンダーや、性的指向を探している人
【A】 Aセクシュアル	他者に対して性的欲求を抱かない人
【I】 インターセクシャル	身体的な性別を単純に男性、女性として分類できない人

※上記はあくまでも代表的な一部のセクシュアリティです。

トランスジェンダーの多様性	意味
【TS】 トランス セクシュアル	生まれた時に備わっていた性器とは反対の性器の形成を望む人
【TV】 トランス ヴェスタイト	心の性にあわせた服装や外見をしたいと望む人
【TG】 トランス ジェンダー	性の役割を心の性にあわせて社会的に生きたい望む人

性のあり方とは？



性別は、4つのものさしで考えることができます。

- ①心の性：自分の性をどのように思うか
- ②身体の性：体の特ちょうなどによって判断される性
- ③恋愛対象の性：どんな性の人を好きになるか
- ④社会的な性：服そう、ふるまい、言葉づかいなどで、自分をどのように表現するか



性的マイノリティを取り巻く、さまざまな偏見・差別

2020年の電通ダイバーシティ・ラボの調査によると、日本には約8.9パーセントの性的マイノリティに属する人がいると言われています。40人のクラスがあれば、3～4人が性的マイノリティに当たります。

しかし、学校での差別やいじめをはじめ、就職や昇進、福利厚生に影響する場合もあり、また医療の面や社会保障による格差など、社会の風当たりは強いものがあります。

性的マイノリティへの関心・問題意識は広まりつつある

日本財団で、大会理念に「ダイバーシティ&インクルージョン」を掲げた東京2020オリンピック・パラリンピック開催前後（2019年と2021年）における、ダイバーシティ&インクルージョンの認知や理解、および社会的マイノリティに対する意識の変化を明らかにするため、10代～60代の男女、5,216人を対象にした調査では、「LGBTQの人に対する差別や偏見がある」と答えた人は、2019年の調査では87.8パーセントであったが、東京2020オリンピック・パラリンピック開催後の2021年の調査では77.4パーセントと10.4ポイント減少。

徐々にではあるが、LGBTQへの関心・問題意識が広まり、改善されつつあるということが言えるのではないのでしょうか。



誰もが「自分らしく生きられる社会」にするために

欧米では、同性婚を認めている国（オランダ、カナダ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド等）が多く、これらの国では、性的指向および性自認を理由とした差別を禁止した「差別禁止法」も同時に整備されているところが多くあります。他にも、自身の性別について自分で決められる「性別認定法」（アイルランド、イギリス）や、トランスジェンダー法（オランダ）等が設けられています。

台湾では、2019年にアジアでは初の「同性婚法」が施行され、多くの同姓カップルが結婚できるようになりました。

日本では2015年の渋谷区、世田谷区を皮切りに、現在260以上の自治体でパートナーシップ制度が施行されています。

法的な権利の発生や義務の付与を伴うものではありませんが、お二人のパートナー関係を社会的に認めてほしいというお気持ちを受け止めるとともに、性的マイノリティの方々への社会的理解が広がり、生きづらさの解消や改善につながっていくことを期待し、奈良市でも令和2年4月1日から「奈良市パートナーシップ宣誓制度」を導入しています。

